環境調査結果のお知らせ

概況

本日、環境調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮原因プランクトンであるメソディニウム・ルブラムが最大2細胞/mL確認されました。

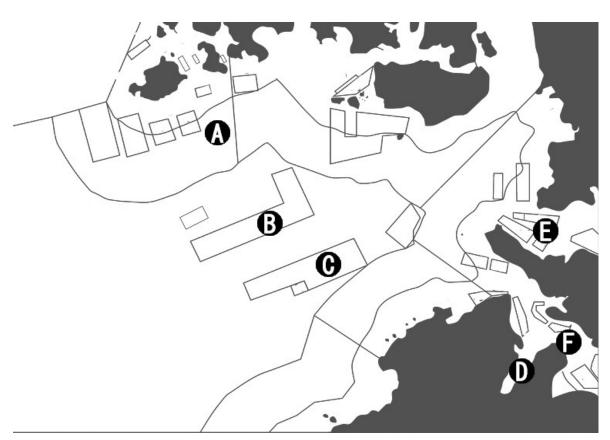
<u>今後、飼育魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業</u> 指導所にご連絡下さい。

調査点	海洋環境				プランクトン		
(透明度/水深)	深度	水温	塩分	溶存酸素	コクロディニウム・	メソディニウム・	
【調査時刻】	(m)	(°C)		(mg/L)	ポリクリコイデス	ルブラム	
	0	28.3	32.5	7.3	0	0	
A 藻津	5	28.3	32.6	7.3	0	0	
(-/37.4m)	★ 10	27.9	33.0	6.6	0	0	
[09:09]	15	27.6	33.1	5.3	-	-	
	20	27.1	33.1	5.2	ı	-	
	0	28.4	32.2	7.4	0	0	
D上自由由	★ 5	28.0	32.8	6.7	0	0	
B 大島中央 (-/32.8m)	7	27.8	32.9	6.5	0	2	
(-/32.8m) [09:16]	10	27.7	33.0	6.8	0	0	
	15	27.3	33.0	6.9	ı	-	
	20	26.9	33.0	5.9	ı	-	
	0	28.6	29.4	7.6	0	1	
C 小筑紫中央	5	28.1	32.9	6.9	0	0	
(-/49m)	10	27.8	32.9	6.8	0	1	
[09:25]	★ 15	27.3	33.0	6.2	0	2	
	20	26.8	33.0	5.9	-	-	
D # = m	0	28.9	32.8	6.9	0	0	
D 栄喜奥 (-/14m)	5	28.3	32.9	7.1	0	1	
(09:42)	★ 10	27.9	33.0	6.5	0	0	
[09.42]	15	27.7	33.1	6.1	ı	-	
	0	29.5	32.2	7.3	0	0	
Eヒロウラ	★ 5	27.9	33.0	6.7	0	1	
(-/25.5m)	10	27.5	33.0	5.7	0	1	
[10:03]	15	27.0	33.2	5.4	-	-	
	20	25.7	33.3	5.4	-	-	
	0	29.1	32.4	7.2	0	0	
F 青瀬山	5	28.5	32.9	7.1	0	0	
(-/16.9m)	10	28.1	32.9	6.9	0	0	
[09:50]	★ 12	27.9	33.0	6.5	0	1	
	15	27.5	33.1	6.0	-		

クロロフィル量が極大の深度および、Om、5m、10mの深度から採水した海水の検鏡を実施しています。

★:採水したサンプルの内クロロフィルが極大であったもの

こちらの「環境調査」は、高知マリンイノベーション情報発信システム「NABRAS」(URL: https://kmi-nabras.pref.kochi.lg.jp)においてもご覧いただけます。



A: 藻津D: 栄喜奥B: 大島中央E: ヒロウラC: 小筑紫中央F: 青瀬山

参考:有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

参考・ 有害 ノブングトンの 種類 と注息 及び 言 版 基準											
≠ ₽→*= > . & > .	被害	注 	数十世 () ()	主な赤潮発生時期 ※3							
有害プランクトン		注意基準(※1)	警戒基準(※2)	浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾					
Karenia mikimotoi (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5~8月	6~8月	_					
Chattonella spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6~8月	1	-					
Cochlodinium polykrikoides (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	_	2~4月	5~6月					
Heterosigma akashiwo (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3~12月	4~8月	4~11月					
Dictyocha spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	-	5,000 cells/mL	6~7月	4月	_					
Takayama spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	_	10,000 cells/mL	8~9月	1	_					
Heterocapsa circularisquama (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	_	500 cells/mL	8~11月	_	_					
Alexandrium spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL		1~4月	3~5月					
Gymnodinium catenatum (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	-	1 cell/mL	_	_	2~7月					

※1 注意基準:餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準: **魚類及び二枚貝のへい死** 並びに **二枚貝の毒化**が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。